# Beyond Angiography Angiography Japan XXI

**Imaging & Physiology for PCI, OMT and TAVI** 

■ 2016年 **3月** 17日(木) 12:00~19:00

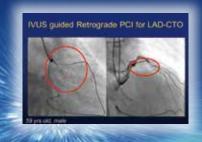
# 会場 トラストシティカンファレンス仙台

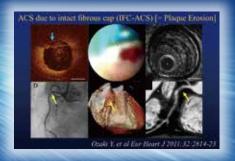
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー5階 TEL:022-224-3801

会長: 尾崎 行男 (藤田保健衛生大学病院 循環器内科)

会費: 3000円 (採用演題1st authorは無料)







# Imaging & Physiology for PCI, OMT and TAVI



大会長 尾崎 行男 藤田保健衛生大学病院 循環器内科

「Beyond Angiography」は、米国でNissen教授(Cleveland Clinic)、Yock教 授(Stanford University) らが中心となって発足した会で、日本でも1996年に山口 徹 先生、鈴木孝彦先生らを中心に Beyond Angiography Japanが発足し、今回で第21回目を迎えることとなりました。

本会では、血管造影法の限界を補完し得る新たな診断技術である血管内エコー法、血管内視鏡、血管内 ドップラー法、冠内圧法、OCT/OFDI、超音波組織性状診断に加え、非侵襲的診断法であるCTやMRI等を 取り上げてきました。それらの科学的根拠、臨床的有用性および安全性などについて詳細に検討し、発表や 討論を通じて最新の知見が紹介され、本領域の発展に大きく貢献してきました。

第21回目を迎える今回のテーマは、「Imaging & Physiology for PCI, OMT and TAVI」 といたしま した。近年、驚くべきスピードで新たな医療技術が導入され、これに伴いimaging modalityも進化し、その 活用法も多種多様となってきております。冠動脈に 関してはFFRを始めとするphysiologyによる評価も重

要さを増しております。さらに、ImagingはPCIの みならずOMTやTAVIの 評価も欠かせないものとなっております。また、前回 好評であったAwardも今回も引き続き授与したいと思っております。また演題を出して いただいた先生の参加費は免除したいと 思っております。皆様の日常診療において経験された興味深い症例を公募しますので奮ってご応募ください。

発表者、参加者が一体となっての熱い意見交換の場にしたいと思いますので、多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

本江 純子

松尾 仁司

岐阜ハートセンター

望月 輝一

山岸 正和

金沢大学医学部

愛媛大学医学部附属病院

菊名記念病院

### 代表世話人

鈴木 孝彦 豊橋ハートセンター

### 世話人

赤阪 隆史 和歌山県立医科大学

五十嵐 慶一

尾崎 行男 藤田保健衛牛大学

JCHO北海道病院

木島 幹博 星総合病院

佐久間 肇 三重大学医学部

志手 淳也 大阪府済生会中津病院

陣崎 雅弘 慶應義塾大学医学部

平山 篤志 日本大学医学部

顧問

相澤 忠範 心臓血管研究所付属病院

栗林 幸夫

山中湖クリニック 射線診断センター

児玉 和久

斎藤 穎 敬愛病院

水野 杏一

山口

虎の門病院

事務局長

寺島 充康

豊橋ハートセンター

徹

尼崎中央病院

公益財団法人 三越厚生事業団

# プログラム

**Opening Remark** 尾崎 行男 (藤田保健衛生大学)

ランチョンセミナー 1 12:00-12:30

Challenges for detection of high-risk plaque by multimodality imaging approach

座長: 赤阪 隆史(和歌山県立医科大学) 演者: 村松 崇 (藤田保健衛生大学)

共催: テルモ株式会社

ランチョンセミナー 2 12:30-13:00

> SYNERGY?が切り拓く新たな可能性 ~DESは最終章へ~ SYNERGYをImaging device から考察する

座長: 志手 淳也 (大阪府済生会中津病院) 演者: 藏満 昭一(小倉記念病院)

共催: ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

一般演題 1 「CAG/IVUS/OCT」 13:00-14:00

座長: 木島 幹博(星総合病院)、本江 純子(菊名記念病院)

ステント内再狭窄に対する薬剤溶出性バルーンによる治療1年半後にステント内閉塞をきたした症例 M-001

米津 太志 (土浦協同病院)

急性前壁心筋梗塞に対するPCI時に腫瘍の断片が吸引された1例 M-002

濱谷 陸太 (土浦協同病院)

M-003 冠動脈内に残留した離断バルーンチップがOCTにより確認された一例

志村 徹郎 (豊橋ハートセンター)

ステント留置前にIVUSを施行するも冠破裂を防ぎ得なかったLADの1例 M-004

木村 俊雄 (医療法人 川崎病院)

14:00-14:20 コーヒーブレイクセッション 1

PCI後の抗血小板療法の意義

座長: 五十嵐 慶一 (JCHO北海道病院) 演者: 久保 隆史 (和歌山県立医科大学)

共催: 第一三共株式会社

14:20-14:40 コーヒーブレイクセッション 2

iFR® Measurement in Daily Clinical Practice

座長: 佐藤 匡也(会津中央病院) 演者: 堀江 和紀(仙台厚生病院)

共催: ボルケーノ・ジャパン株式会社

14:40-15:00 コーヒーブレイクセッション 3 グレーゾーン病変への治療戦略

座長: 松尾 仁司 (岐阜ハートセンター) 演者: 山下 淳 (東京医科大学病院)

共催: セント・ジュード・メディカル株式会社

15:00-16:00 一般演題 2 「MRI/CT」

座長: 佐久間 肇 (三重大学)、望月 輝一 (愛媛大学)

M-005 冠動脈CTが巨大瘤を伴う冠動脈・肺動脈瘻の治療方針決定に有用であった一例

田中 健太郎 (岩手医科大学)

M-006 冠動脈石灰化病変を高精細CTと従来CTとで比較し得た一例

元山 貞子(藤田保健衛生大学)

M-007 プラークの安定化を非造影T1強調心臓MRIで確認できた一症例

三好 徹 (愛媛県立今治病院)

M-008 心室中隔瘤で形成された血栓による冠動脈塞栓症と考えられた急性心筋梗塞の1例

重松 達哉 (愛媛県立中央病院)

16:00-16:30 共催シンポジウム 1

分岐部病変における臨床成績 向上への挑戦

座長: 森野 禎浩(岩手医科大学) 演者: 岡村 誉之(山口大学病院)

共催: セント・ジュード・メディカル株式会社

16:30-17:00 共催シンポジウム 2

OCTにおけるXienceの安全性、有用性など

座長: 尾崎 行男 (藤田保健衛生大学) 演者: 伊藤 智範 (岩手医科大学附属病院)

共催: アボットバスキュラー・ジャパン株式会社

17:00-18:00 一般演題 3 「IVUS/OCT/FFR/Multiple imaging modalities」

座長: 天野 哲也 (愛知医科大学)、寺島 充康 (豊橋ハートセンター)

M-009 Multimodalityを用いたWoven Coronary Arteryへの挑戦 -PCIの限界-

割澤 高行(新東京病院)

M-010 CAGでは診断困難であったが、multi imaging modalityにより診断し得た冠動脈解離および心筋梗塞の一例

須賀 俊博(群馬中央病院)

M-011 器質狭窄に冠攣縮性狭心症を合併し、FFRを用いて治療方針を決定した一例

永吉 靖央 (阿蘇医療センター)

M-012 冠動脈狭窄の解除による冠微小循環の変化に伴う冠血流の変化を考えさせられる2症例

村井 典史 (土浦協同病院)

M-013 Efficacy of lesion preparation with the Non Slip Element Balloon in small coronary artery

舟山 直宏 (北海道循環器病院)

18:00-18:30 共催シンポジウム 3

血行再建前後に見る心筋血流代謝情報の有用性

座長: 松尾 仁司 (岐阜ハートセンター) 演者: 井口 信雄 (榊原記念病院)

共催: 日本バイオセンサーズ株式会社

18:30-19:00 共催シンポジウム 4

SeQuent Please後のOCTによる視覚的検証

座長: 鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター) 演者: 永井 宏幸 (桜橋渡辺病院)

共催: 株式会社グッドマン

## アクセスマップ



### ● Westinホテル隣

- 電車をご利用の場合 ●JR仙台駅 西口より徒歩9分
  - ●R仙石線 あおば通駅 2番出口より徒歩8分
  - ●地下鉄南北線 仙台駅 南2番出口より徒歩6分
  - ●地下鉄東西線 青葉通一番町駅 南1番出口より徒歩7分

飛行機をご利用の場合 ● 仙台空港より仙台空港線にて仙台駅まで約25分

# 会場案内図

